

# 取扱説明書

保証書別添

## 日立LED照明器具

型式

LEC-BH730

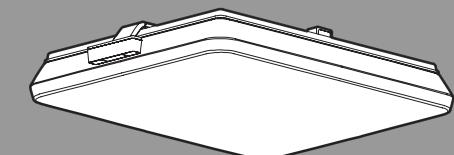
LEC-BH630

LEC-BH530

LEC-BH71

LEC-BH61

LEC-BH51



- あかりセレクトボタン付き
- 調色・調光機能付き
- タイマーリモコン付き

## LED シーリング

このたびは、日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保存してください。

「安全上のご注意」 → P.2 をお読みいただき、正しくお使いください。

工事店様へ

この説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

**HITACHI**  
Inspire the Next

## もくじ

● 安全上のご注意	2
・ ご使用上に関するお知らせ	3
● 各部の名前・付属品	3
● 器具の取り付けかた	4~5
● 使いかた	6
・ リモコンの操作	6~10
・ リモコンご使用上の注意	
・ 乾電池の入れかた・交換のしかた	
・ 各部の名前と各ボタンの使いかた	
・ 時計の合わせかた	
・ あかりセレクトボタンの使いかた	
・ 節電ボタンの使いかた	
・ タイマー予約のしかた	
・ タイマー予約の内容確認のしかた	
・ タイマー予約の実行・解除のしかた	
・ タイマーボタン 切30分の使いかた	
・ リモコンケースの使いかた	
・ チャンネルの設定	11
・ 壁スイッチの操作	12
● 器具の取り外しかた	13
● お手入れ	14
● 仕様	14
● お困りのときは	15
● 保証とアフターサービス	16

# 安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## ■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

### 危害や損害とその程度の区分



#### 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



#### 注意

この表示の欄は、「傷害を負うことか想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

### 絵表示の例



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



実行していただく「指示」内容のものです。



## 警告



### このような場所には取り付けない

禁止



押すと簡単にたわむ  
補強のない天井



ケースウェイ取り付け形  
ローゼット、シーリングボディ



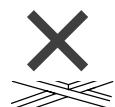
傾斜天井



舟底天井



竿縁天井



格子天井



●器具の改造、構成部品の交換はしない。

※火災・感電・故障の原因となります。

禁止

●器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。

※感電・故障の原因となります。



### このような配線部品には取り付けない

禁止



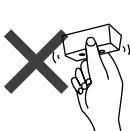
欠け



割れ



破損しているもの



ガタつくもの



19mm未満

使用不可



角形・丸形引掛シーリングボディ



10mm未満

使用不可



埋込形引掛シーリングローゼット

このような場合は、  
電気工事店に依頼して  
配線部品を交換してく  
ださい。



## 注意

### ●定格電圧 交流100V以外で使用しない。

※過熱し、火災の原因となります。

### ●浴室などの湿気の多い場所や、常時温度の高い場所(35℃以上)では使用しない。

※絶縁性能が低下し、火災、感電の原因となります。

### ●調光器では使用しない(100%点灯でも使用不可)。

※過熱し、火災の原因となります。

### ●取り付け、取り外し、お手入れの際は電源を切る。

※電源を切らないと感電の原因となります。

### ●アダプタのチューブをずらしてコネクタを確実におおう。

※過熱時の延焼防止のためです。

### ●器具の真下にストーブなどを置かない。

※過熱し、火災の原因となります。

### ●屋外で使用しない(この器具は屋内専用です)。

※火災・感電の原因となります。

### ●点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので触らない。

※やけどの原因となります。

### ●器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。

※器具の落下によるけがの原因になります。

### ●カバーを外して、点灯しているLED光源を直視しない。

※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

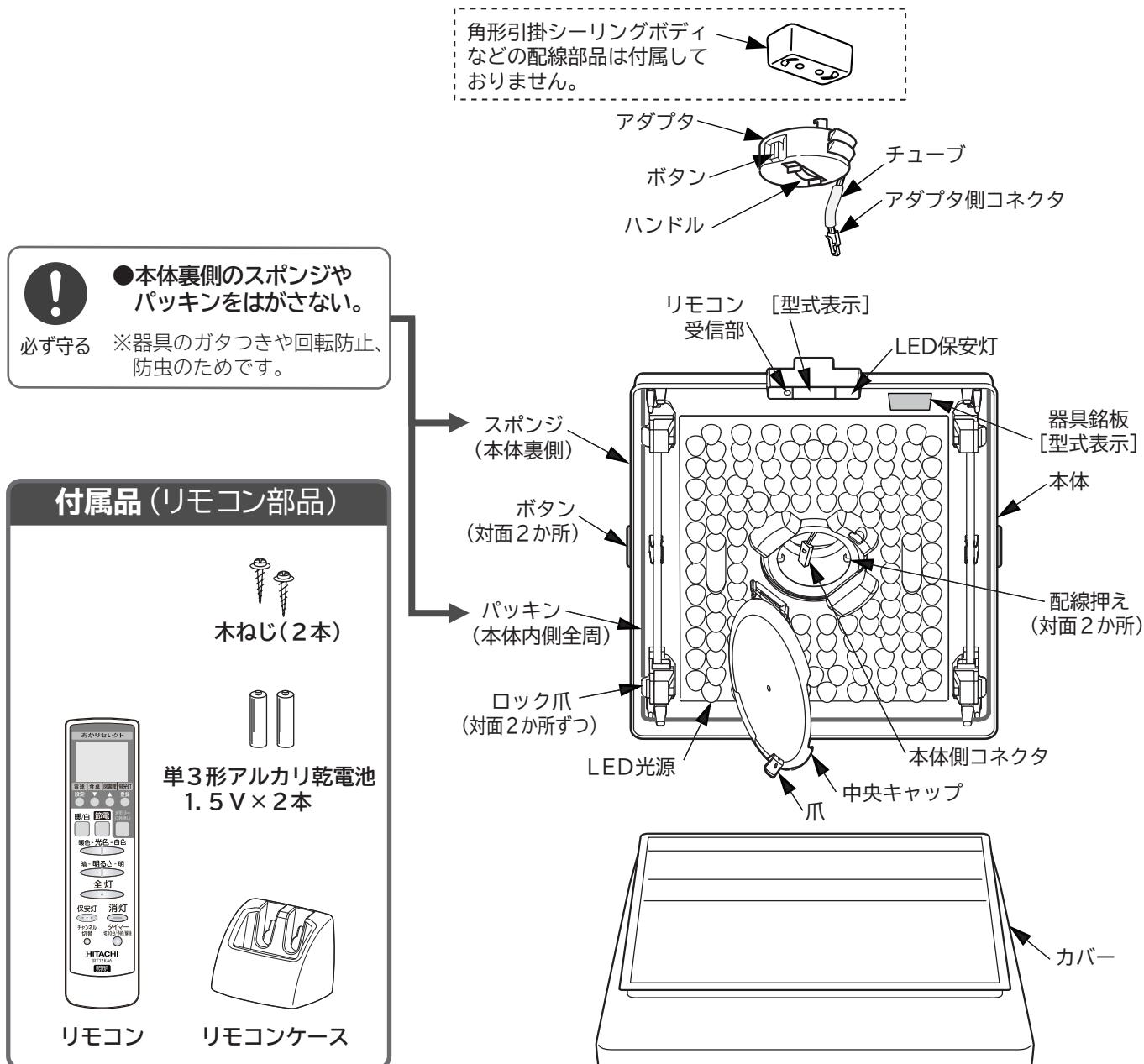
### ●照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

## ご使用上に関するお知らせ (このようなことにもご注意を)

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 短い停電（0.2秒～2秒以内）や電圧の低下などにより、点灯状態が切り替わる場合があります。長時間、器具を使用しない場合は電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切ることをおすすめします。ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。
- LED光源のみの交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
- LED素子の発光色等のバラツキなどのため、同一型式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる、またはムラが生じる場合があります。
- 天井の材質や構造によって、器具取り付け天井面が変色する場合があります。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。

## 各部の名前・付属品

- 下図を参照して、各部品をお確かめください。※図は取り扱い方法を説明するための、簡略図になっています。



# 器具の取り付けかた

## 取り付ける前に

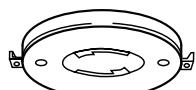
- 天井にこのような配線部品がついている場合は、器具が取り付けられます。



角形引掛  
シーリングボディ



丸形引掛  
シーリングボディ



埋込形引掛  
シーリングローゼット



- 天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店（有資格者）に取り付け工事を依頼する。

必ず守る  
※工事には資格が必要です。

## アダプタの取り付けかた

1

- 電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切ってください。

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。



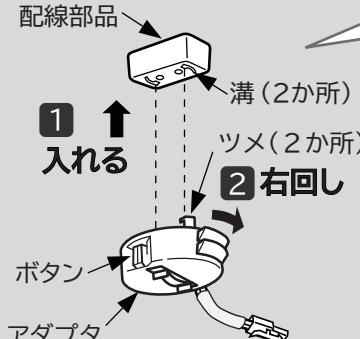
- 器具の取り付けの際は、電源を切る。

必ず守る

※電源を切らないと、感電の原因となります。

2

- 配線部品（引掛シーリングボディなど）の溝にアダプタのツメを入れてください。  
また、必ず同梱しているアダプタを使用してください。



### アダプタの取り外しかた



3

- 右方向にいっぱいまで回してください。ロックが掛かり固定されます。



- 取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、はずれないことを確認する。

必ず守る

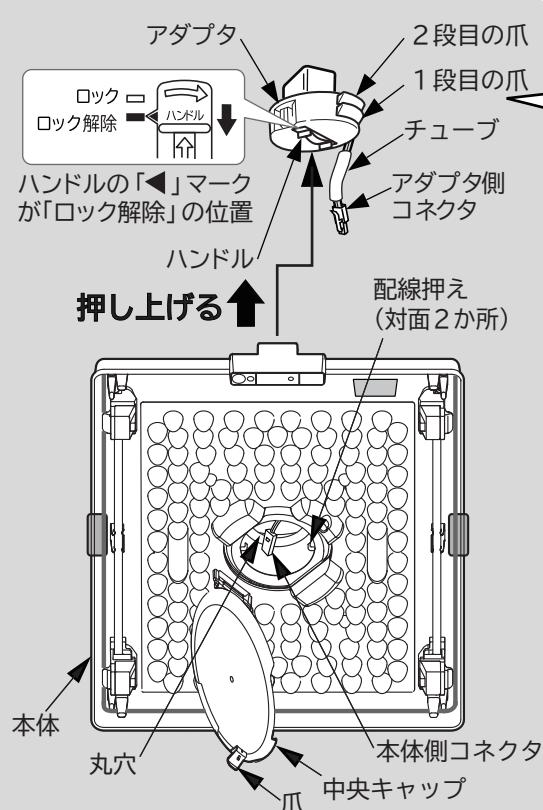
※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

# 本体およびカバーの取り付けかた

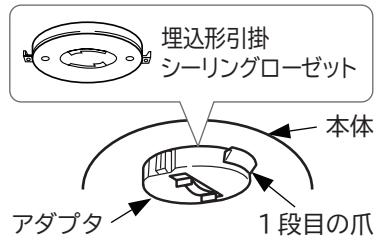
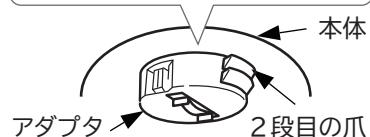
4 ハンドルが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。

5 アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて、アダプタ両側の爪に掛かるまで押し上げてください。

本体がガタつく場合はさらに押し上げてください（爪は上下2段あります）。



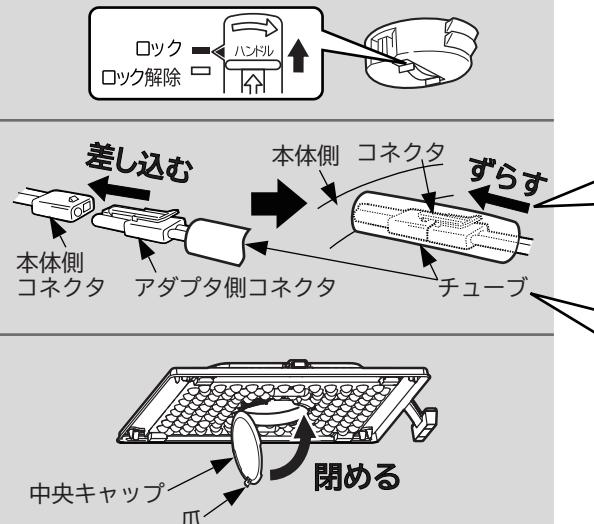
●天井に付いている配線部品により、本体に掛かる爪の位置が変わるので、下の図を参照し、適切な爪（両側2か所）が本体に掛かっていることを確認する。  
※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



6 ハンドルを「ロック」の位置にずらしてください。

7 アダプタ側コネクタと本体側コネクタを確実に差し込んだ後、アダプタのチューブをずらして、コネクタを確実におおってください。

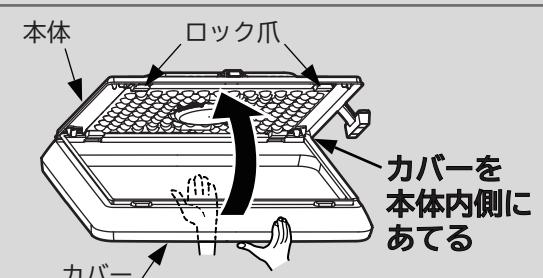
8 チューブがコネクタをおおっていることを確認した後、爪を持って中央キャップを閉めてください。



●アダプタのチューブをずらしてコネクタを確実におおう。  
※過熱時の延焼防止のためです。

●コネクタや電線を無理に引っ張らない。  
※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

9 ①本体の内側にカバーをあてて押し上げてください。



②ボタンを押しながら、カバーを確実に取り付けてください。

③取り付け後、カバーを軽く下に引っ張り、外れないことを確認してください。



●取り付け後、カバーを軽く下に引っ張り、外れないことを確認する。  
必ず守る

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

# 使いかた

## リモコンの操作

### ■ 特長

- ・あかりセレクトボタンで4つのあかりが選べます。→P.8「あかりセレクトボタンの使いかた」をご参照ください。
- ・タイマー予約で設定した時間に自動点灯・自動消灯。→P.9~10「タイマー予約のしかた」をご参照ください。
- ・光色・明るさボタンでお好みのあかりに調節可能。→P.7「各部の名前と各ボタンの使いかた」をご参照ください。

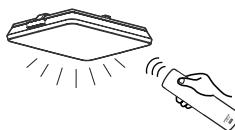
### リモコンご使用上の注意

- 壁スイッチはONにしてご使用ください。



#### 壁スイッチはONにする

- 周囲の環境条件、天井・壁・床の色や材質などにより、リモコンが動作しにくい場合があります。その場合は、器具に近づけてリモコン操作をしてください。



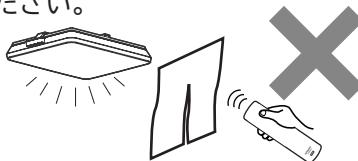
#### 器具に近づけて操作する

- リモコンはリモコンケースから取り出して、器具に向けて操作してください。



#### 器具に向けて操作する

- リモコンと器具の間にしゃへい物があると器具が動作しない場合があります。その場合は、しゃへい物を避けてリモコン操作をしてください。



#### しゃへい物を避ける

- “タイマー予約”で使用する場合は、リモコンをリモコンケースに入れて器具の真下付近に置いて、ご使用ください。また、リモコンを置く場所から器具が動作するか確認してください。



#### 器具の真下付近に置く

- 器具とリモコンのチャンネルチャンネルを合わせ切替ボタンさせて操作してください。→P.11「チャンネルの設定」をご参照ください。

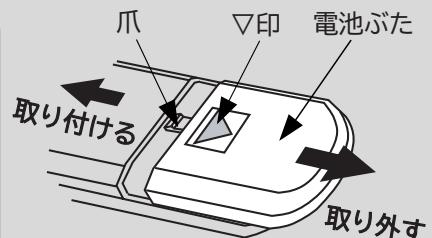
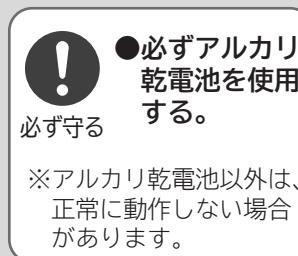
#### チャンネルを合わせる

- 温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用や、水にぬらしたりしないでください。また、リモコンを落したり衝撃を与えると表示画面が点滅を始めますので、乾電池を交換してください。

- 乾電池の残量が少なくなってくると表示画面が点滅を始めますので、乾電池を交換してください。また、表示画面が消えてから乾電池を交換した場合、時刻表示および予約内容は工場出荷時の状態に戻りますので、設定し直してください。

### 乾電池の入れかた・交換のしかた

- 1 リモコン裏面の電池ぶたの△印を押しながら、電池ぶたをずらして取り外してください。
- 2 付属の単3形アルカリ乾電池を $\oplus$   $\ominus$ の表示に合わせて入れてください。表示画面の時刻が点滅した場合は→P.8「時計の合わせかた」をご参照ください。
- 3 リモコンに電池ぶたをかぶせ、△印を押しながら、リモコンに爪が入って「パチン」と音がするまでずらして取り付けてください。



### 乾電池について

- 乾電池を誤って使うと液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、注意してご使用ください。
  - ・電池のアルカリ液が目、皮ふに付着したときは失明やけがのおそれがあるので、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けること。
  - ・発熱、液もれ、破裂、機器破損のおそれがあるので、 $\oplus$   $\ominus$  逆接続、ショート、分解、新旧・銘柄・異種電池の混用、充電、加熱、火に入れるなどしない。

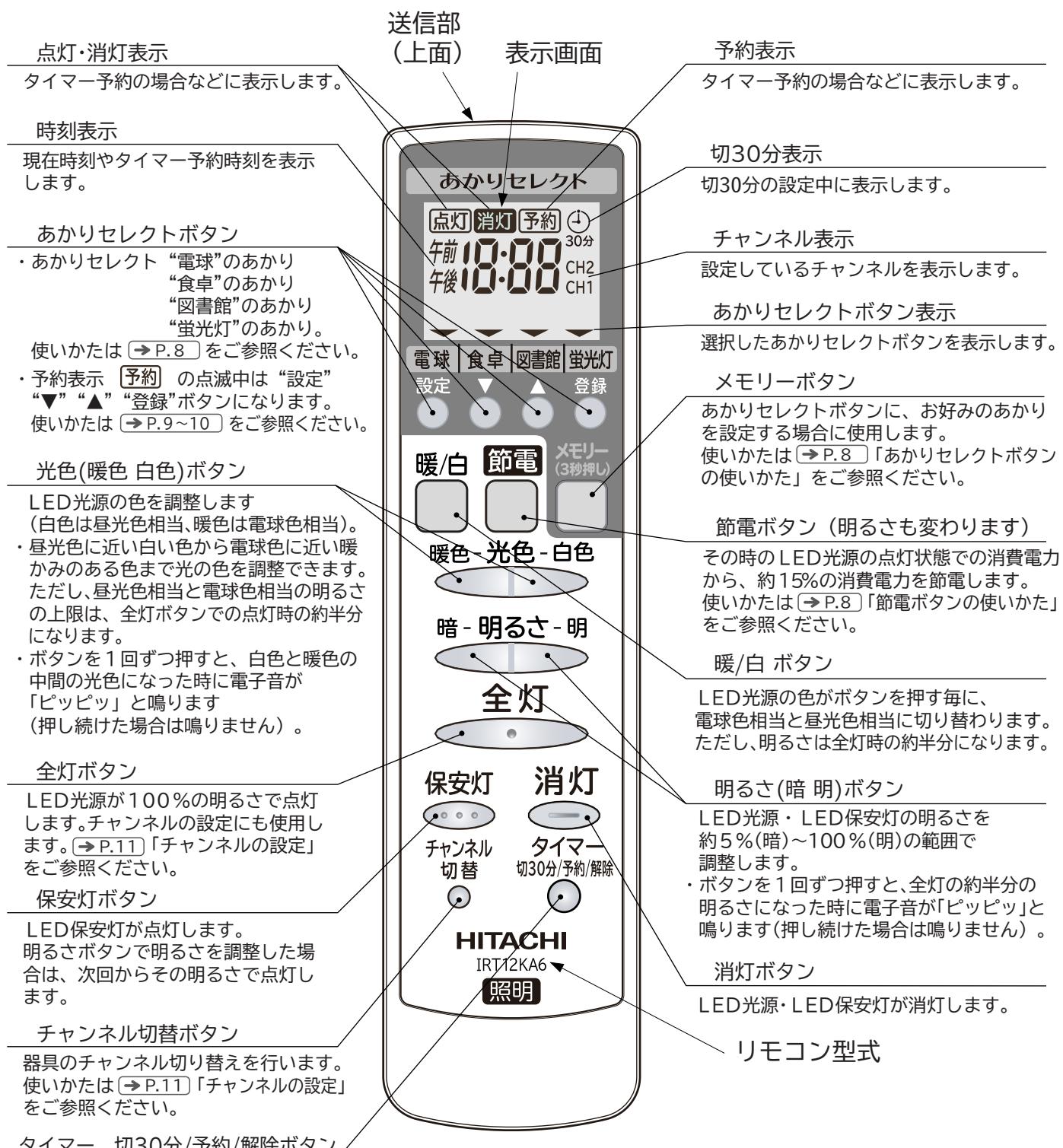
- 液漏れによる故障の原因となるので、長時間使用しない場合は乾電池を取り外しておく。

- リモコンのアルカリ乾電池は、1日10回の使用で約半年使えます。

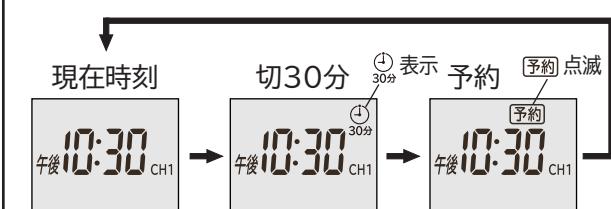
- 付属の乾電池は、リモコン操作確認用として同梱していますので、使える期間が短い場合があります。

## 各部の名前と各ボタンの使いかた

操作ボタンを押すとリモコン送信部からの信号が本体に入り、本体から電子音が「ピッ」と鳴り受信をお知らせします。操作ボタンを押しても点灯状態が変わらない時は、電子音が「ピッピッ」と鳴ります。



切30分、予約、解除の設定を切り替えます。  
ボタンを押す毎に、下記の通り表示が切り替わります。



- 切30分の使いかたは  
→ P.10 「タイマーボタン 切30分の使いかた」をご参考ください。
- タイマー予約の使いかたは  
→ P.8 「時計の合わせかた」をご参考ください。  
→ P.9 「タイマー予約のしかた」をご参考ください。  
→ P.9 「タイマー予約の内容確認のしかた」をご参考ください。  
→ P.10 「タイマー予約の実行・解除のしかた」をご参考ください。

## 時計の合わせかた

### 乾電池を入れた時

※設定を途中でやめたい時はタイマーボタンを押してください。また、1分間操作がない場合は時刻設定を終了します。この時、設定途中の時刻は登録されません。

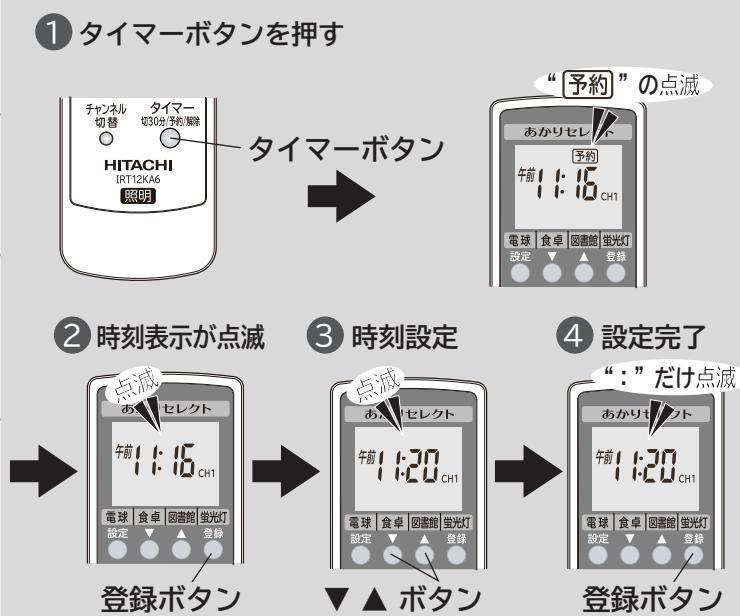
- 1 表示画面が消えている時に乾電池を入れると時刻表示が点滅し、時刻設定に入ります。
- 2 ▼▲ボタンで現在時刻を設定してください。
  - ボタンを1回押す毎に1分刻みで時刻が変わります。
  - ボタンを押し続けると10分刻みで時刻が変わります。
- 3 登録ボタンを押してください。  
“：“だけが点滅し、設定が完了します。



### 時刻を合わせなおす時

※設定を途中でやめたい時はタイマーボタンを押してください。また、1分間操作がない場合は時刻設定を終了します。この時、設定途中の時刻は登録されません。

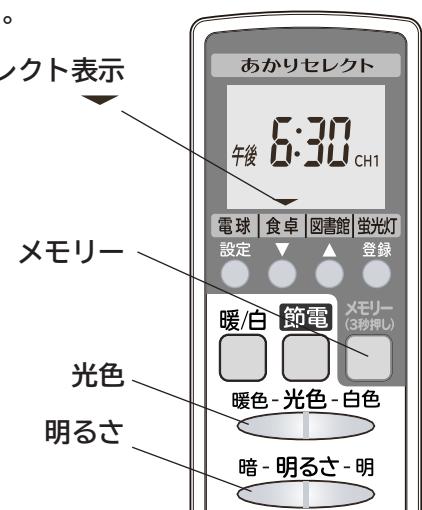
- 1 タイマーボタンを押して、表示画面に“予約”的点滅を、表示してください。
- 2 時刻表示が点滅するまで、登録ボタンを長押ししてください。
- 3 ▼▲ボタンで現在時刻を設定してください。
  - ボタンを1回押す毎に1分刻みで時刻が変わります。
  - ボタンを押し続けると10分刻みで時刻が変わります。
- 4 登録ボタンを押してください。  
“：“だけが点滅し、設定が完了します。



## あかりセレクトボタンの使いかた

※リモコンはリモコンケースから取り出して、器具に向けて操作してください。

- あかりセレクトボタンで4つのあかりが選べます。  
(電球のあかり、食卓のあかり、図書館のあかり、蛍光灯のあかり)
  - あかりセレクトボタンを押すと、表示画面に“▼”が表示されます。
- あかりセレクトボタンに、お好みのあかりを記憶できます。
  - 記憶したいあかりセレクトボタンを押します。
  - 光色、明るさボタンで、お好みのあかりにします。
  - メモリーボタンを約3秒長押しします。
  - 器具から「ピッ」と音がして記憶します。
- あかりセレクトボタンのあかりを、元へ戻す場合。
  - 元に戻したいボタンを約3秒長押しします。
  - 器具から「ピピッ」と音がして、工場出荷時の状態に戻ります。



## 節電ボタンの使いかた

※リモコンはリモコンケースから取り出して、器具に向けて操作してください。

- その時の、LED光源の点灯状態での消費電力から約15%の消費電力を節電します。(明るさも変わります。)ただし、続けて節電ボタンを押した場合、電子音は鳴りますが、さらに節電はしません。
- ※LED光源自体の明るさの変化は15%とは限りません。
- ※明るさ(明 暗)ボタンで、一番暗い時(明るさ約5%)は節電効果はありません。
- ※壁スイッチやリモコンで点灯状態の切り替えをした場合は、節電は解除されます。

## タイマー予約のしかた

「点灯」、「消灯」、「点灯および消灯」のタイマー予約ができます(点灯は全灯での点灯です)。工場出荷時は、点灯「午後6:00」、消灯「午後10:00」に設定されています。また、→P.6「リモコンご使用上の注意」もご参照ください。

- 1 タイマーボタンを押して、表示画面に“**予約**”の点滅を、表示してください。

- 1 タイマーボタンを押す



タイマーボタン



- 2 ●点灯予約・消灯予約の選択  
設定ボタンを押すと、時刻が点滅して点灯予約の表示画面になります。  
押す毎に **点灯予約** ⇔ **消灯予約** と表示画面が切り替わりますので、設定したい表示画面にしてください。

- 2 点灯予約



- 3 時刻の設定 (2で点灯予約にした場合。)

・▼▲ボタンで時刻を設定してください。

- ・ボタンを1回押す毎に1分刻みで時刻が変わります。
- ・ボタンを押し続けると10分刻みで時刻が変わります。

- 3 時刻設定



▼▲ボタン

- 4 ●登録 (2で点灯予約にした場合。)

- ・時刻を合わせたら登録ボタンを押すと予約されます。
- ・時刻の点滅が止まり、タイマー予約の設定画面が終了し、現在時刻表示画面に戻ります。
- ・予約中は“**点灯**”と“**予約**”が表示されます。

※消灯予約や予約時刻の変更をする場合は上記の手順で設定してください。

- 4 登録



▼▲ボタン

- 現在時刻表示



※タイマー予約で使用する場合は、リモコンをリモコンケースに入れて器具の真下付近に置いて、ご使用ください。

また、リモコンを置く場所から器具が動作するか確認してください。

※設定を途中でやめたい時はタイマーボタンを押してください。

また、30秒間操作がない場合は時刻設定を終了します。この時、設定途中の時刻は登録されません。

## タイマー予約の内容確認のしかた

- 1 タイマーボタンを押して、表示画面に“**予約**”の点滅を、表示してください。

- 1 タイマーボタンを押す



タイマーボタン



- 2 ▲ボタンを押す毎に、表示画面の“**点灯**”“**消灯**”が切り替わり予約内容が確認できます。

- 2 点灯予約



- 消灯予約



▲ボタン

※確認をやめたい時はタイマーボタンを押してください。また、10秒間操作がない場合は内容確認の表示画面を終了します。

## タイマー予約の実行・解除のしかた

1 タイマーボタンを押して、表示画面に“**予約**”の点滅を、表示してください。

1 タイマーボタンを押す



2 ▼ボタンを押す毎に、表示画面の“**点灯**”“**消灯**”が切り替わり、実行と解除の設定ができます。

点灯予約設定  
(消灯は解除)  
**点灯**表示

消灯予約設定  
(点灯は解除)  
**消灯**表示

点灯・消灯  
予約設定  
**点灯**消灯  
表示

点灯・消灯  
予約設定解除  
表示なし

▼ボタン

3 設定を決めたら、登録ボタンを押してください。  
実行・解除が登録されて現在時刻に戻ります。  
※予約は、解除しなければ毎日実行されます。

※実行・解除を途中でやめたい時はタイマーボタンを押してください。また、10秒間操作がない場合は実行・解除の表示画面を終了します。

3 現在時刻表示（下記は、点灯予約の実行の場合）



登録ボタン

## タイマーボタン 切30分の使いかた

※リモコンはリモコンケースから取り出して、器具に向けて操作してください。  
切30分は、約30分後にLED保安灯に切り替わり、約10秒後に消灯します。

### ・設定のしかた

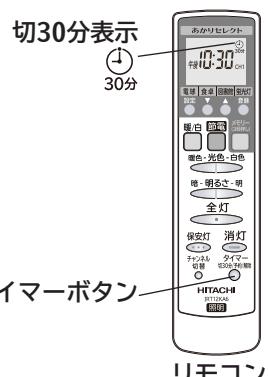
タイマーボタンを押して、本体から電子音が「ピッ」と鳴ると設定が完了します。  
表示画面に“**①**”が表示されます。  
30分

### ・解除のしかた

設定中にタイマーボタンを押して、本体から電子音が「ピピッ」となると設定が解除されます。表示画面から“**①**”が消えます。

※この時、表示画面に“**予約**”が表示されますが、もう一度タイマーボタンを押すか、約30秒間放置しておけば、現在時刻の表示画面に戻ります。  
また、壁スイッチ操作やチャンネル切替ボタン以外でリモコン操作をした場合も解除されます

※切30分の設定後は、リモコンを器具に向けておく必要はありません。



## リモコンケースの使いかた

リモコンを無くさないように、置き場所として壁などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。



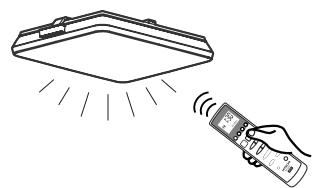
### 取り付けかた

●リモコンケースの位置を決め、付属の木ねじ2本で取り付けてください。



※リモコンケースにリモコンを入れて器具の近くに置く時のために、リモコンケースを上にずらして取り外せるように取り付けてください。

●リモコンは、リモコンケースから取り出し、器具に向けて操作してください。



# チャンネルの設定

※リモコンはリモコンケースから取り出して、器具に向けて操作してください。

部屋でご使用になる照明器具の台数に応じ、次のようにチャンネルを設定してください。

## 1台のリモコンで1台の器具を操作する場合

リモコンをチャンネル1に合わせて操作します。

表示画面の  
チャンネル表示が  
"CH1"

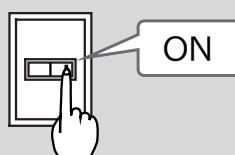


※出荷時は、チャンネル1に設定しています。  
リモコンの表示画面が“CH1”になっている  
ことを確認のうえ、器具にリモコンを向けて  
操作してください。

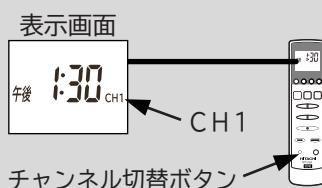
## 1台のリモコンで2台の器具を操作する場合

器具のチャンネル設定をします。

1 壁スイッチはONにしてください。

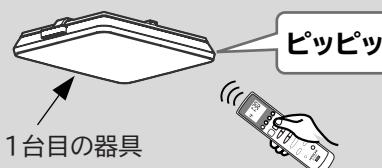


2 リモコンのチャンネル切替ボタンを押して、表示画面のチャンネル表示を“CH1”にしてください。

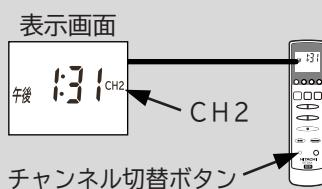


3 1台目の器具にリモコンを向け、全灯ボタンを約3秒間、長押ししてください。

器具から電子音が「ピッピッ」と2回鳴り、設定の完了をお知らせします。

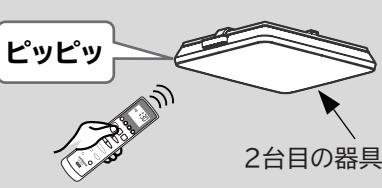


4 リモコンのチャンネル切替ボタンを押して、表示画面のチャンネル表示を“CH2”にしてください。



5 2台目の器具にリモコンを向け、全灯ボタンを約3秒間、長押ししてください。

器具から電子音が「ピッピッ」と2回鳴り、設定の完了をお知らせします。

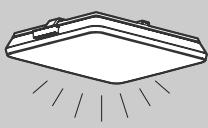


### ご注意

●リモコンは、他の日立リモコン照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定のしかたは、その商品の取扱説明書をご参照ください。  
また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

●チャンネル設定が完了したら、リモコンを各々の器具に向けて操作してください。

1台目の器具



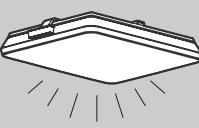
チャンネル切替ボタンを  
押して、チャンネル表示  
を“CH1”にして操作し  
ます。



チャンネル切替ボタンを  
押して、チャンネル表示  
を“CH2”にして操作し  
ます。



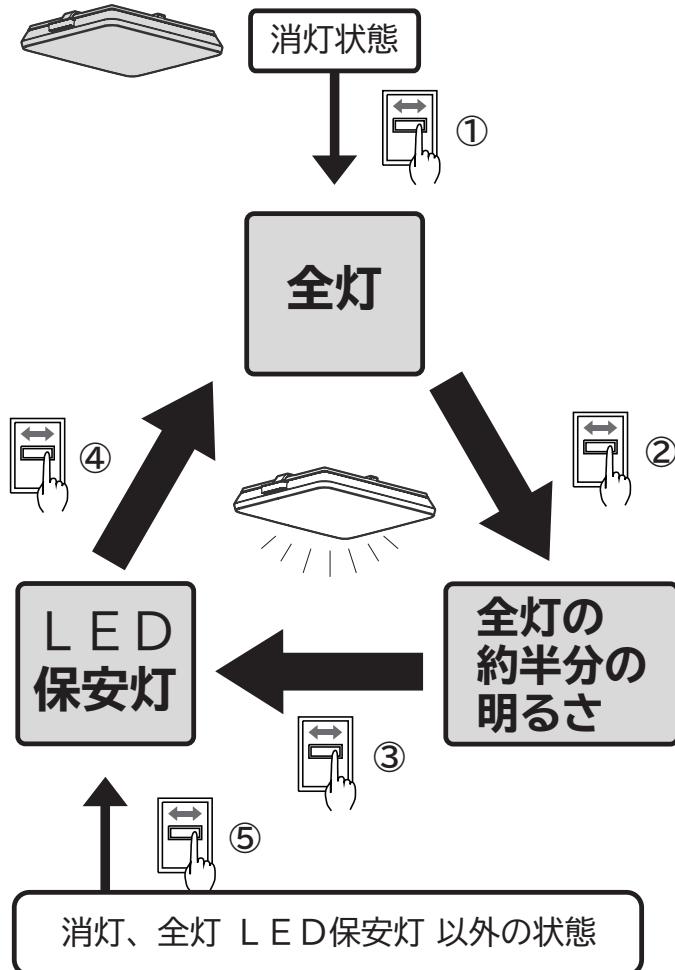
2台目の器具



# 壁スイッチの操作

## 点灯状態を切り替える

壁スイッチがONの状態で、1秒を目安に“OFF→ON”することで器具の点灯状態を切り替えることができます。ただし、1個の壁スイッチで2台以上の器具を使用すると、点灯状態が同時に切り替わらない場合があります。



### 切り替え操作のしかた

壁スイッチがONの状態で  
1秒を目安に“OFF→ON”と  
壁スイッチを操作してください。

※0.2秒以下や2秒を超えた場合は検知しない  
ので、点灯状態の切り替えはできません。

- ① 消灯から切り替えると、全灯に切り替わります。
- ② 全灯から切り替えると、全灯の約半分の明るさに切り替わります。  
※暖色と白色の混色です。
- ③ 全灯の約半分の明るさから切り替えると、LED保安灯に切り替わります。
- ④ LED保安灯から切り替えると、全灯に切り替わります。
- ⑤ 消灯、全灯、LED保安灯以外から切り替えると、LED保安灯に切り替わります。

※ 壁スイッチ操作で節電は解除されます。

## 点灯・消灯

壁スイッチをOFFにして外出し、帰宅後、壁スイッチをONにすると、壁スイッチをOFFにする前の点灯状態になります。



## 壁スイッチの便利な使いかた

リモコンで消灯して外出。  
(壁スイッチはONのまま)



帰宅後に壁スイッチを  
OFFにした後、1秒を目安にON。



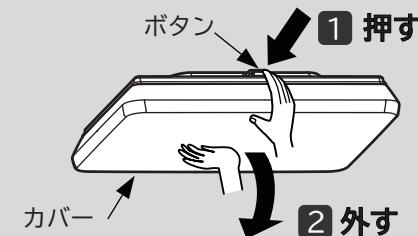
# 器具の取り外しかた

## カバーおよび本体の取り外しかた

- 1 電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切ってください。

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

- 2 カバーを支えながらボタンを押して、カバーを取り外してください。



- 器具の取り外しの際は、電源を切る。

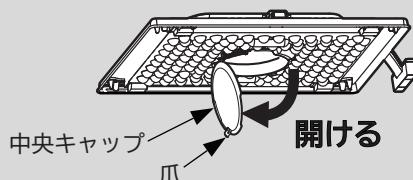
必ず守る

※電源を切らないと、感電の原因となります。

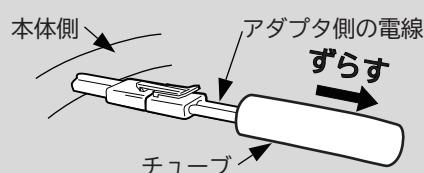
- 消灯直後の器具は熱いので、時間をおいて本体が十分に冷えてから作業する。

※やけどの原因となります。

- 3 中央キャップの爪を持つて開けてください。

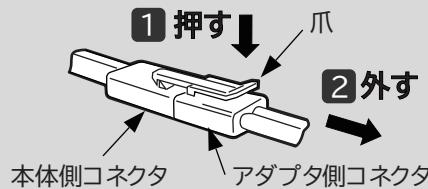


- 4 チューブをアダプタ側の電線にずらしてください。



- 5 コネクタを外してください。

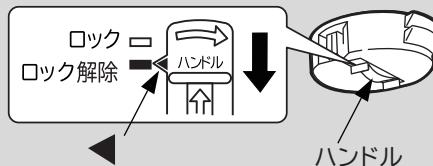
アダプタ側コネクタの爪を押しながら引き抜いてください。



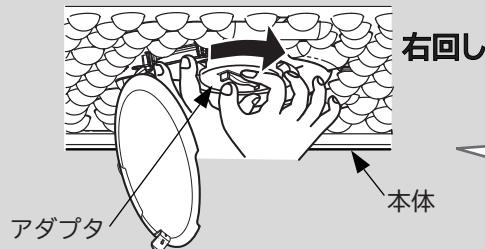
- コネクタを無理に引き抜いたり、電線を引っ張ったりしない。

※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

- 6 ハンドルの◀を「ロック解除」の位置にずらしてください。



- 7 本体中央部を、しっかりと支えながら、アダプタのハンドルを右に回して本体を外してください。



- 本体が落下しないように、確実に本体を支えながら作業する。

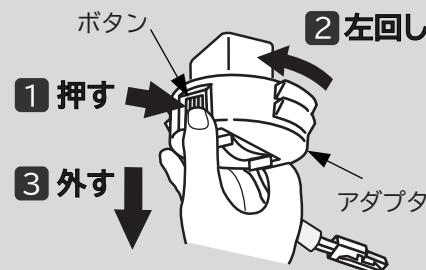
必ず守る

※手を離すと本体落下によるけがの原因となります。

- 8 アダプタを外してください。

ボタンを押しながら左方向に回してください。

- 器具の取り付けかたは  
→ P. 4~5 をご参考  
照ください。



- アダプタを無理に回さない。

※引掛シーリングボディなどの破損の原因となります。

# お手入れ

●明るく安全にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

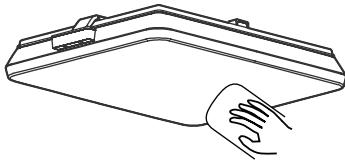
## 器具のお手入れ

●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落としてください。

●汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸して、よくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

石けんとは天然油脂を原料としたものです。

商品表示が“石けん”であることを確認してください。)



必ず守る

●お手入れの際は、電源を切る。

※電源を切らないと、感電の原因となります。



禁止

●みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけたりしない。

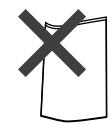
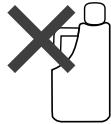
※割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



みがき粉



ベンジン



合成洗剤

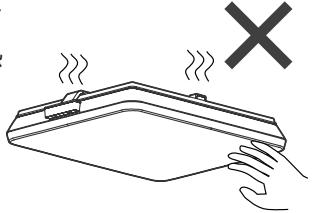
化学ぞうきん

殺虫剤

## 器具取り扱い上のご注意



●点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので、触らない。

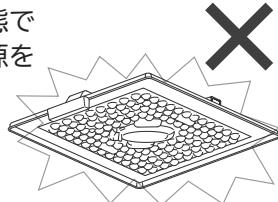


※やけどの原因となります。



禁止

●カバーを外した状態で点灯したLED光源を直視しない。



※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

# 仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

型式	仕様	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	LED保安灯 点灯時消費電力	消灯時 待機電力
LEC-BH730 (~12畳)	交流 100V	50/60Hz 共用	84W 75W 66W 84W 75W 66W	0.5~1.0W (調光状態による)	0.4W	
LEC-BH630 (~10畳)						
LEC-BH530 (~8畳)						
LEC-BH71 (~12畳)						
LEC-BH61 (~10畳)						
LEC-BH51 (~8畳)						

●この器具はリモコン機能付き器具のため、リモコンで消灯した状態では上記の待機電力を消費しています。

長時間ご使用にならないときは電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切り、節電を心がけてください。

ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

# お困りのときは

●もしこんな現象が起きたときは… 故障と思われる前に下の表にしたがってお調べください。

このようなときは	考えられる要因	対応	ページ
明るさが変わった。	●短い停電があった。	●短い停電で、壁スイッチの操作のように“点灯状態を切り替える”機能が働く場合があります。	12
リモコンを操作しても点灯しない。	●壁スイッチが OFF になっている。	●壁スイッチをONにしてください。	6
	●コネクタがきちんと差し込まれていない。	●コネクタを確実に差し込んでください。	5
	●リモコンの乾電池が間違って入っている。	●乾電池を正しく入れてください。	6
	●乾電池が寿命になっている。	●新しい乾電池と交換してください。	6
	●器具本体とリモコンのチャンネルが合っていない。	●チャンネルを正しく設定してください。	11
タイマー予約が動作しない。	●リモコンを、器具が動作する範囲内に置いていない。	●リモコンを器具の真下付近に置き、置いた場所から動作するか確認してください。	6
壁スイッチを操作しても点灯しない。	●コネクタがきちんと差し込まれていない。	●コネクタを確実に差し込んでください。	5
点灯状態が次々と切り替わる。	●店頭展示状態に入っている。	●リモコンで、消灯ボタンを押してください。全灯ボタンで点灯し、点灯状態が次々と切り替わらずに解除されていることを確認してください。	—
リモコンで消灯し、壁スイッチを操作しても点灯しない。	●ON・OFF 状態がわかる壁スイッチの場合	●壁スイッチを一度 OFF にし、約1秒後に再度 ON にしてください。	
	●ON・OFF 状態がわからない壁スイッチの場合 (押しボタン式で押すたびにONとOFFが切り替わり、今の状態がONなのかOFFなのかわからないタイプ)	●壁スイッチを約1秒間隔で2回押してください。 ●もし上記の操作で点灯しないときは、上記の操作後2秒以上待ってから、壁スイッチを約1秒間隔で3回押してください。	

(上記の表にしたがって調べても直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。)

※万一、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の型式(本体の器具銘板、リモコン受信部付近に表示)と現象を連絡のうえご相談ください。

# 保証とアフターサービス

## 保証書（別添）

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。

（ハ）火災、地震、水害、落雷、そのほか天災地変、ガス害（硫化ガスなど）、公害や異常電圧による故障または損傷。

（二）車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。

（ホ）業務用または過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。

保証期間	お買い上げ日から、LED光源基板・電源基板：5年、本体：1年です。（詳しくは保証書をご覧ください。）
------	--

●24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。
--------	---

保証期間が過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
---------------	-------------------------------------

## 使用中に異常が生じたときは

「お困りのときは」→（P.15）をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご相談ください。

●修理を依頼されるため、製品を販売店にお持ちの際は、アダプタ、リモコンもご一緒に持ちください。

## 日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。  
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

ホームページに「よくあるご質問」について記載しておりますので、ご活用ください。

[http://kadenfan.hitachi.co.jp/q\\_a/index.html](http://kadenfan.hitachi.co.jp/q_a/index.html)

修理に関するご相談は  
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68  
FAX 0120-3121-87

（受付時間）9:00～19:00（月～土）、9:00～17:30（日・祝日）  
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は  
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11  
FAX 0120-3121-34

（受付時間）9:00～17:30（月～土）、9:00～17:00（日・祝日）  
年末年始は休ませていただきます。  
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区的サービスセンターを紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。



〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話（03）3502-2111